

— 情報と社会を結ぶ、これからのクライアント運用管理へ —

SKYSEA Client View

スカイシー クライアント ビュー

Ver.6

[技術資料]

— 通信ポート —

資料をご利用の際にはWebサイトをご確認いただき、最新の技術資料をお使いください

資料の目的

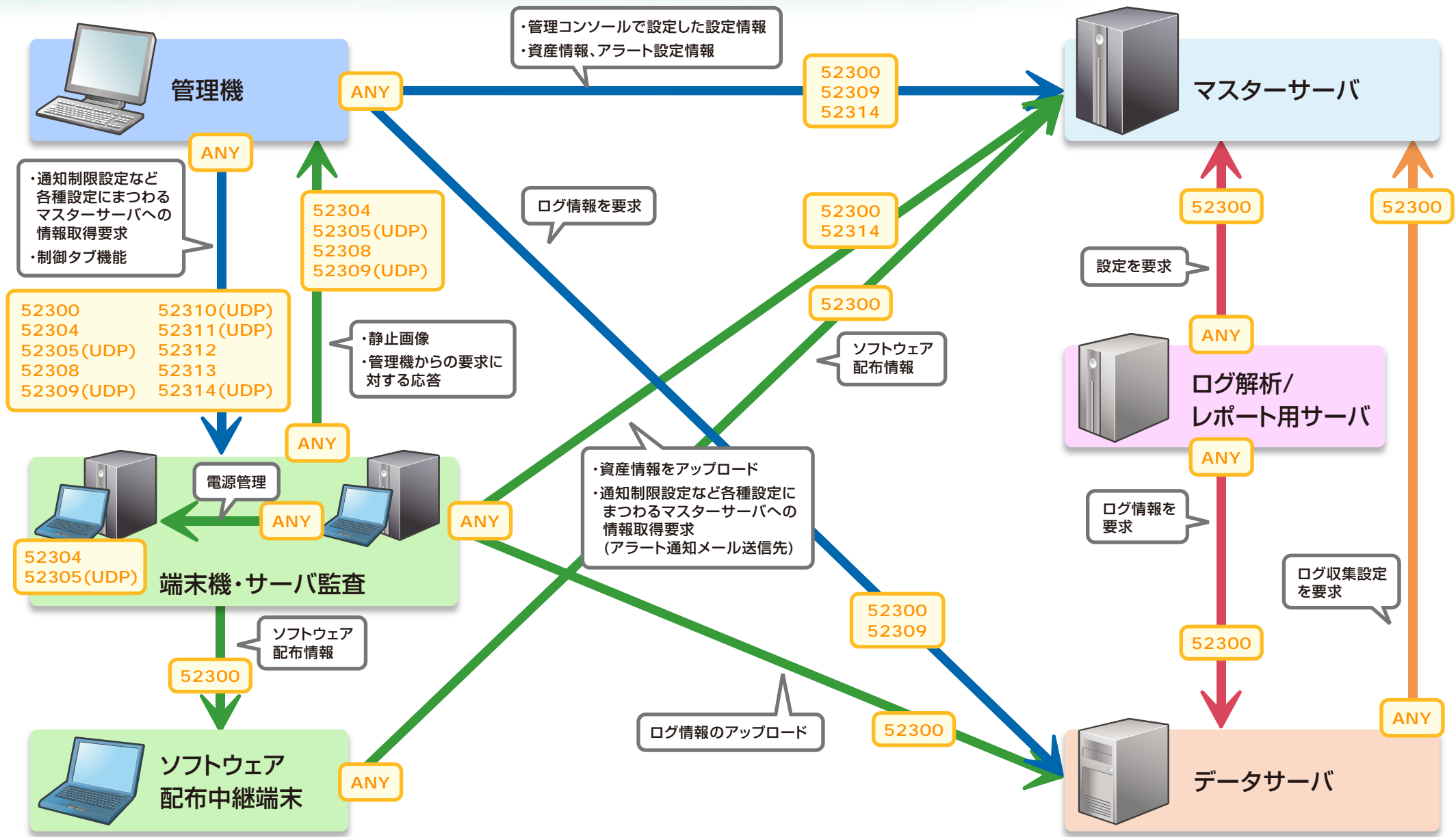
(2011/07/11 更新)

- ・SKYSEA Client View Ver.6で使用するポートをご確認いただくための資料です。
- ・記載内容は初期値を表しております。
マスターサーバのインストール時に使用ポートを変更された場合は、この限りではございません。
その場合は5 ページの注意点をご参照ください。

通信の流れ - 1 -

[技術資料]

通信内容 ポート番号



通信の流れ -2-

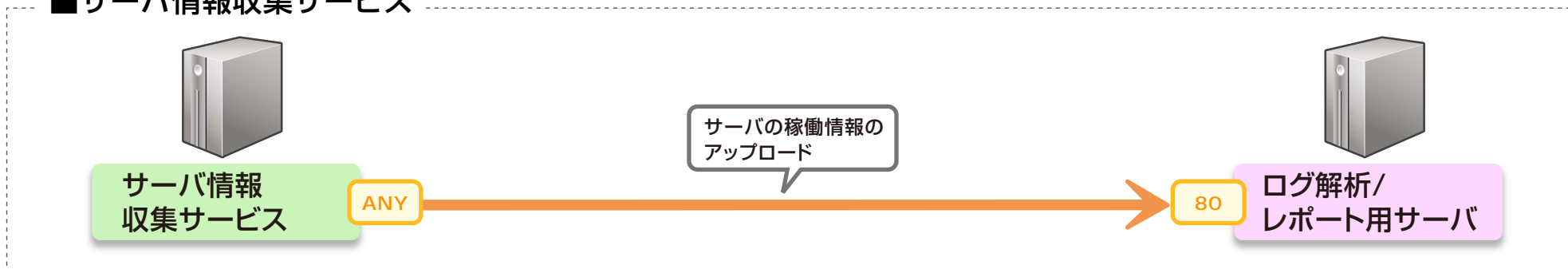
通信内容

ポート番号

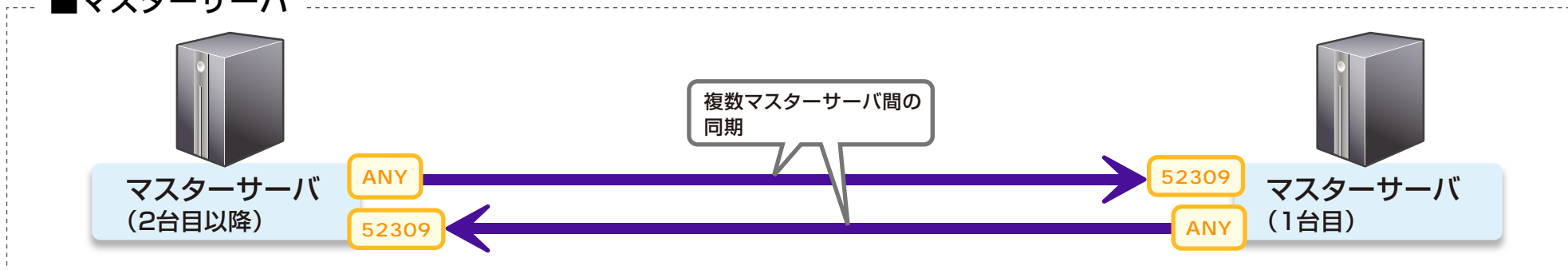
■遮断ユニット



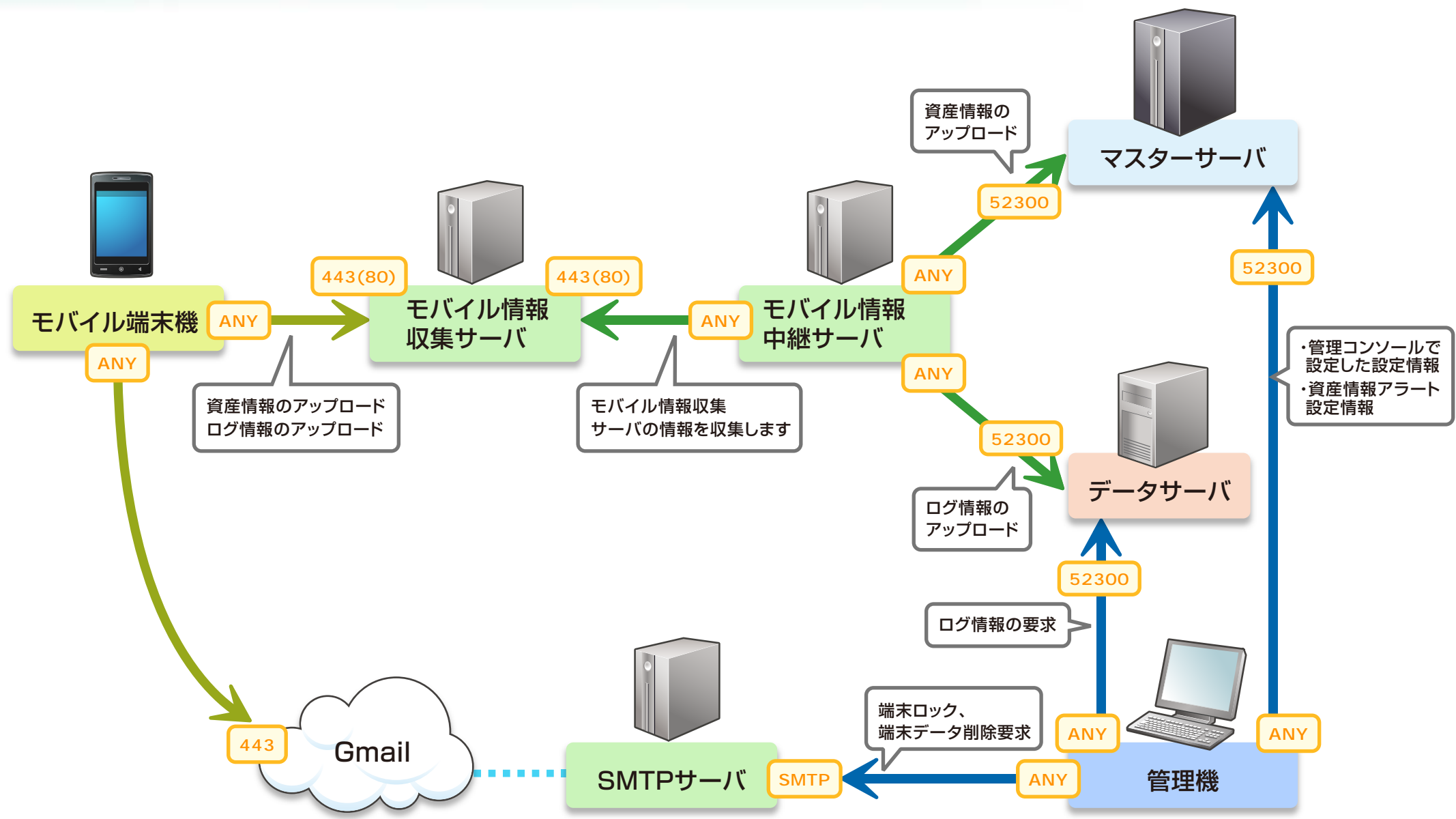
■サーバ情報収集サービス



■マスターサーバ



通信の流れ -3-





[技術資料]

使用ポート一覧

項目	通信ポート	
1	TCP 52300	SKYSEA Client View の 各機能で使用
2	TCP 52304	
3	UDP 52305	
4	TCP 52308	
5	TCP 52309	
6	UDP 52309	
7	UDP 52310	
8	UDP 52311	
9	TCP 52312	
10	TCP 52313	
11	TCP 52314	
12	UDP 52314	
13	HTTP(TCP 80)	不許可端末遮断ユニットの設定で使用
14	TCP 52310	不許可端末遮断ユニットがマスターサーバとの 通信で使用
15	UDP 52310	
16	ms-sql (TCP1433、UDP1434/1033)	高速ログ検索(High Speed Log Search) で使用
17	HTTP	ログ解析/レポート用サーバで使用
18	HTTPS(HTTP)	Android端末管理に利用
19	SMTP	メール通知(注意表示)で使用
20	POP3/SMTP	印刷物取り忘れ警告(注意表示)で使用
21	SNMP	SNMP機器のMIB情報取得で使用
22	ICMP	ネットワーク機器の死活監視で使用

【注意点】

使用するポート番号は初期設定値になります。

項目1～12、14～15は、ポート番号の変更が可能です。

項目1～12はマスターサーバインストール時にポート番号を指定することで、指定したポート番号を起点とし、項目1から順に飛び数のポート番号を利用します。

項目14～15は、マスターサーバインストール時に変更したポート番号となります。

なお、項目19と20は現地環境により、利用するポート番号は異なります。